

## 岩手県高等学校文化連盟放送専門部

# 2017(平成 29)年度 理事総会(第 1 回理事会)

2017(平成 29)年 4 月 21 日(金) 15:00~17:00

岩手中・高等学校 合同教室

### 次第

開会		
専門部長挨拶		
自己紹介		
議長選出		
協議	1	2016(平成 28)年度事業報告ならびに決算報告
	(1)	2016(平成 28)年度役員 2
	(2)	事業報告 3
	(3)	決算報告
	ア	一般会計 6
	イ	事業費会計① NHK 杯県大会 7
	ウ	事業費会計② 新人大会 8
	エ	事業費会計③ 講習会 9
	2	2017(平成 29)年度役員(非改選期) 10
	3	2017(平成 29)年度事業計画ならびに予算
	(1)	事業計画 11
	(2)	予算
	ア	一般会計 16
	イ	事業費会計① NHK 杯県大会 17
	ウ	事業費会計② 新人大会 18
	エ	事業費会計③ 講習会 19
	4	NHK 杯県大会要項(6 月 5 日・6 日開催) 20
	5	アナウンス朗読講習会要項(7 月中旬開催) 20
	6	放送講習会要項(9 月 17 日開催) 20
	7	第 21 回東北高等学校放送コンテスト(2/2-4 開催)について 20
	8	その他 25
連絡	1	2018(平成 30)年度以降の予定 26
	2	放送専門部の連絡方法 27
	3	その他 28
閉会		
資料		岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約 29
		2016(平成 28)年度高文連紀要・大会結果 (省略)

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/2017/bod20170421.pdf>

## 協議 1 2016(平成 28)年度事業報告ならびに決算報告

### (1) 2016(平成 28)年度役員 (理事校 26 校, 報告事項)

専門部長	岩手中・高等学校長	村井伸吾	
副専門部長	盛岡白百合学園高等学校長	荻原禮子	次期事務局校
専門部代表理事	岩手中・高等学校	松田満	事務局長(上位大会担当 <sup>※</sup> )
専門部理事			
岩手県立盛岡第一高等学校	細川純平・谷藤さなえ		2032～2033 年度事務局校
岩手県立盛岡第二高等学校	小田諭・新田剛史		2020～2021 年度事務局校
岩手県立盛岡第三高等学校	高橋篤志・大内寿文		2022～2023 年度事務局校
岩手県立盛岡第四高等学校	澤瀬政則(監事)・佐藤文子・佐藤満		2038～2039 年度事務局校
岩手県立盛岡北高等学校	安藤剛		2036～2037 年度事務局校
岩手県立盛岡南高等学校	川崎博子		2024～2025 年度事務局校
岩手県立不来方高等学校	金子剛・高館信子		2026～2027 年度事務局校
岩手県立杜陵高等学校定時制	佐藤素子・佐々木勝宏		
岩手県立盛岡工業高等学校	黒須智一・太田原章克		2028～2029 年度事務局校
岩手県立盛岡商業高等学校	西村隆一・齋藤秀幸・高橋昭宏・谷崎勝広・元木達也		2030～2031 年度事務局校
紫波総合高等学校	鈴木勇二(盛岡支部理事・次年度東北大会事務局)・鈴木俊		
盛岡市立高等学校	伊藤晃・山屋賢一		2034～2035 年度事務局校
岩手高等学校	堀江崇子・長澤進也		事務局校
盛岡白百合学園高等学校	松尾聡(監事)・高橋正義・成田奈穂		次期事務局校
岩手県立花巻北高等学校	金田知佐子(花巻支部理事)		
岩手県立花巻農業高等学校	濱谷伸広		
岩手県立花北青雲高等学校	加藤啓		
岩手県立黒沢尻北高等学校	二階堂幸枝(北上支部理事)・阿部尚史		
専修大学北上高等学校	野村学・藤原悟		
岩手県立前沢高等学校	水賀美佑紀・川原恵理子		
岩手県立岩谷堂高等学校	遠藤ゆかり(奥州支部理事)・及川悠・多田侑司		
岩手県立一関工業高等学校	佐々木亜紀子(一関支部理事)・金子季三子		
岩手県立大船渡高等学校	菊田光哉(気仙支部理事)		
岩手県立釜石高等学校	小菅直人(釜石支部理事)		
岩手県立宮古高等学校	山崎治子(宮古支部理事)・金聡美		
岩手県立宮古工業高等学校	菊地達哉(上位大会担当 <sup>※※</sup> )・和山真也		
岩手県立久慈高等学校	松田隆(久慈支部理事)		
岩手県立福岡高等学校	曾我範晃(二戸支部理事)		

(<sup>※</sup> 松田満: NHK 杯運営委員)

(<sup>※※</sup> 菊地達哉: NHK 杯運営部, 高文連全国放送専門部理事, 東北高文連放送部会理事, 東北アナ朗事務局)

※北上翔南高校を理事校に加える

(2) 事業報告 (2016(平成28)年度第3回理事会で報告済)

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	8	金	県高文連第1回理事会	サンセール盛岡	県高文連
4	22	金	理事総会・第1回理事会	岩手高校	放送専門部
5	13	金	県高文連事務局長会議他	サンセール盛岡	県高文連
5	24	火	第68回岩手県高等学校総合体育大会総合開会式 司会(盛岡第一・盛岡第二・杜陵・盛岡白百合)	運動公園	協力事業 県高体連
6	6	月	第39回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第63回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会 (23校・152+288名・204エントリー)	県民会館	放送専門部・NHK
6	27	月	第16回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト (8校・23名・13エントリー)	細野コミュニティセンター	東北高文連 主管事業
7	2	火	NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	NHK放送センター(東京)	全放連・NHK
7	3	土	アナウンス朗読講習会 (11校・50名)	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	25	月	第63回NHK杯全国高校放送コンテスト (10校・66名・25エントリー)	NHKホール他(東京)	全放連・NHK
7	28	木	Nコン番組制作セミナー (7校・51名)	NHKホール(東京)	全放連・NHK
7	30	土	交通安全テレビCM制作講習会1 (5校・26名)	IBC岩手放送	協力事業 IBC岩手放送
8	1	月	高文連全国放送専門部理事会	広島国際会議場	全国高文連
8	2	火	第40回全国高等学校総合文化祭(広島大会) 放送部門(7校・23名・9エントリー)	広島国際会議場	全国高文連
8	3	水	交通安全テレビCM制作講習会2 (5校・47名)	IBC岩手放送	協力事業 IBC岩手放送
8	6	土	短歌甲子園アナウンス講習会 (2校・15名)	プラザおでつて	盛岡支部協力事業 盛岡市
8	8	月	第11回全国高校生短歌大会 司会 (盛岡第一・盛岡第二)	姫神ホール・盛岡劇場	盛岡支部協力事業 盛岡市
8	17	水	東北地区高校放送部顧問勉強会 (3校・3名)	仙台市シルバーセンター	協力事業
8	19	金	いわて国体・いわて大会式典司会練習会 (3校・3名)	北上陸上競技場	協力事業 岩手県
8	20	土	第2回理事会	岩手高校	放送専門部
8	29	月	東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	八戸市公会堂	東北高文連
9	2	金	いわて国体式典総合練習会 (3校3名)	北上陸上競技場	協力事業・岩手県
9	16	金	いわて大会式典総合練習会 (2校2名)	北上陸上競技場	協力事業・岩手県
9	17	土	セミナーサポート事業②放送講習会 (19校116名, うち県外3校6名)	県民会館	放送専門部
9	18	日	いわて教育の日のつどい 司会(盛岡第一)	県民会館中ホール	協力事業・岩手県
9	21	水	いわて国体総合リハーサル (3校・3名)	北上陸上競技場	協力事業・岩手県
9	25	日	いわて国体総合開会式 (3校・3名)	北上陸上競技場	協力事業・岩手県
10	1	土	岩手芸術祭開幕フェスティバル 司会(盛岡第一)	県民会館大ホール	協力事業・岩手県
10	8	土	いわて国体総合閉会式 (3校・3名)	北上陸上競技場	協力事業・岩手県
10	11	火	セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセ ミナー	県民会館他	放送専門部
10	12	水	第39回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式 (花巻北(遠野高校主管))	遠野市民センター	県高文連 (花巻支部主管)
10	14	金	いわて大会総合リハーサル (2校2名)	北上陸上競技場	協力事業・岩手県
10	15	土	いわて大会開会式 (2校2名)	北上陸上競技場	協力事業・岩手県
10	22	土	いわて大会閉会式 (2校2名)	北上陸上競技場	協力事業・岩手県
10	24	月	第12回高校生交通安全テレビCMコンテスト (9校50名)	盛岡グランドホテル	協力事業・岩手県
10	26	水	第39回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第34回岩手県高等学校放送新人大会 (22校・189名・170エントリー)	県民会館	放送専門部
11	2	水	セミナーサポート事業④番組講習会 (8校65名)	県民会館	放送専門部
11	24	木	セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会 (12校51名)	県民会館	放送専門部
12	23	金	校内放送指導者講座 (2名派遣・計5名参加)	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK
2	27	火	第20回東北高等学校放送コンテスト (13校・69名・36エントリー)	八戸市公会堂・ 八戸市公民館	東北高文連
2	4	土	第3回理事会・会計監査	岩手高校	放送専門部
2	5	日	番組講習会	おでつてホール	盛岡支部
2	17	金			
3	24	金			
3	25	土			

## ア 大会事業

県大会はいずれも第39回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会として開催。全結果は放送専門部のウェブサイトをご覧ください。

- ① **第63回 NHK 杯全国高校放送コンテスト岩手県大会** 6月6日(月)-7日 県民会館
  - ・NHK 杯全国大会(2016(平成28)年7月)の予選として実施。
- ② **第34回岩手県高等学校放送新人大会** 11月2日(水) 県民会館
  - ・東北高等学校放送コンテスト(青森大会, 2017(平成29)年2月)ならびに第41回全国高等学校総合文化祭放送部門(宮城大会, 2017(平成29)年8月)の予選として実施。
  - ・第41回全国高総文祭参加推薦は次のとおり。  
アナウンス部門…盛岡白百合学園(2)奥山あかり・(2)村田佳子, 盛岡第二(2)本郷晴乃  
朗読部門…盛岡第一(2)谷藤遥, 不来方(2)佐藤玲香, 花巻北(2)高橋美綺  
オーディオピクチャー部門…宮古工業, ビデオメッセージ部門…花巻農業, 黒沢尻北
- ③ **上位大会等** (担当: 宮古工業・菊地達哉)
  - ・**第16回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト** 6月27日(月)-28日(火) 安比高原  
岩手県高文連放送専門部の主管で実施。
  - ・**第63回 NHK 杯全国高校放送コンテスト** 7月25日(月)-28日(木) NHK ホール他  
決勝進出(アナウンス準優勝・盛岡第一(3)照井渚彩)は2年ぶり, 入賞6
  - ・**第40回全国高等学校総合文化祭放送部門** 8月2日(火)-3日(水) 広島国際会議場  
アナウンス部門(盛岡白百合(2)奥山あかり)とビデオメッセージ部門(盛岡第一)で優秀賞。  
岩手県の総合成績は3位相当。
  - ・**第20回東北高等学校放送コンテスト** 2月4日(土)-5日(日) 八戸市公会堂・公民館  
テレビキャンペーン部門最優秀賞(黒沢尻北)など, 入賞10。

## イ 講習会事業

セミナーサポート事業, 盛岡支部事業, 上位大会関連事業, 協力事業関連として実施。

- ① **放送専門部・盛岡支部主催**
  - ・**アナウンス朗読講習会** 7月16日(土) NHK 盛岡放送局  
大槻隆行アナ・上原康樹アナ(NHK 盛岡局)による全国大会出場者への指導。
  - ・**放送講習会** 9月18日(日) 県民会館  
広島県立五日市高等学校放送部 荷宮嗣磨先生・石井七瀬さん・岩元萌々香さん・三谷明由実さん(2年)を招聘。県内校の活動発表は盛岡白百合学園高校放送部。
  - ・**メディアコミュニケーションセミナー** 10月12日(水) 県民会館・テレビ岩手  
樋田由美子(パネット), 加藤久智・高橋典子(IBC 岩手放送), 中野圭(テレビ岩手)各氏による部門別の講習。
  - ・**番組講習会** 11月24日(木) 県民会館  
中野圭氏(テレビ岩手)による東北大会出場校への指導。
  - ・**アナウンス朗読講習会** 12月23日(金) 県民会館  
安田知博氏による東北大会出場者等への指導。
  - ・**番組講習会** 3月24日(木)-25日(金) 市内, おでって, 盛岡支部主催  
井手広法氏による指導。

## ② 上位大会関連・協力事業関連

### ・第12回高校生交通安全テレビCMコンテスト・制作講習会

7月30日(土)・8月6日(土) IBC, 10月26日(水) 盛岡グランドホテル  
岩手県ほか主催, IBC岩手放送によるCM制作についての指導。講習会は2回同内容で計10校73名参加

### ・Nコン番組制作セミナー 7月28日(木) 東京 NHK ホール

NHK杯全国大会後に東京で実施。NHKのスタッフによる指導。盛岡第一・盛岡第二・岩手・盛岡白百合学園・黒沢尻北・宮古・宮古工業の7校51名参加。

### ・第11回全国高校生短歌大会司会・講習会 8月8日(月), 17日(水)-19(金) 盛岡劇場他

畑中美耶子氏による指導。盛岡第一・盛岡第二の2校15名が担当。

### ・高総体開会式司会 5月24日(火) 運動公園…盛岡第一・盛岡第二・杜陵・盛岡白百合

### ・IAT 純情応援歌 5-7月

### ・いわて国体・いわて大会

盛岡第一・照井渚彩, 盛岡白百合学園・奥山あかり, 黒沢尻北・高橋礼子

### ・いわて教育の日のつどい司会 9月21日(木) 県民会館…盛岡第一・照井渚彩

### ・岩手芸術祭開幕フェスティバル司会 10月8日(土) 県民会館…盛岡第一・照井渚彩

## ウ 研修事業

① 校内放送指導者講座(12/27-28, 千代田放送会館)…2名派遣, 合計5名が参加。この講座への参加者は累計32名(複数回参加を除く)となり, 指導力・審査力の向上につながっている。

② 生徒派遣…今年度は該当無し。アナウンス・朗読で次年度の全国総文代表に1年生が選ばれた場合に検討するもの。

② 盛岡支部主催番組講習会(3月)への補助…第2回理事会で承認。支出項目は, 一般会計/事業費/研修事業。

## エ その他

① 部員数調査…第2回理事会で報告

② 県高文連表彰…第2回理事会で報告

次のとおり県高文連に推薦し, 表彰を受賞した。

**連盟賞(生徒表彰)**…2015(平成27)年9月1日~2016(平成28)年8月31日に全国大会(総文祭・NHK杯など)で優良賞(3位)以内に入賞した個人及び部(団体)。

・盛岡第一高校 照井渚彩

第63回NHK杯全国高校放送コンテストアナウンス部門準優勝

・盛岡白百合学園高校 奥山あかり

第40回全国高等学校総合文化祭放送部門アナウンス部門優秀賞

・盛岡第一高校 放送委員会

第40回全国高等学校総合文化祭放送部門ビデオメッセージ部門優秀賞

**功労賞(教職員表彰)**…2015(平成27)年4月1日~2016(平成28)年3月31日に退職した教職員で, 専門部長・指導者として全国大会優良賞(3位)以内に入賞したもの, 指導者として全国大会に10回以上出品・出演させた方。

・内藤賢一 先生(盛岡北高等学校でご退職) 2013(平成25)年度放送専門部長

・児玉 純 先生(盛岡工業高等学校でご退職) 1995(平成7)年第33回千代田杯全国高等学校放送コンクールラジオ制作CM部門奨励賞「青く美しい地球へ」(盛岡商業)など, 指導者として全国入賞多数

### (3) 決算報告

#### ア 一般会計

##### 1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 前年度繰越	132,202	132,202	0	
B 登録料	180,000	200,000	20,000	1校あたり 10,000
C 参加料				
C-01 NHK杯県大会参加料	160,000	177,000	17,000	1エントリーあたり1,000
C-02 新人大会参加料	140,000	142,000	2,000	1エントリーあたり1,000
参加料小計	300,000	319,000	19,000	
D 補助金				
D-01 県高総文祭部門費	80,000	80,000	0	NHK杯27,905・新人大会52,095
D-02 セミナーサポート費	420,000	430,000	10,000	講習会430,000
D-03 強化費	50,000	50,000	0	講習会50,000
D-04 専門部補助	170,000	170,000	0	
D-05 研修費	50,000	50,000	0	
補助金小計	770,000	780,000	10,000	
E 雑収入	798	5	-793	利息
合計	1,383,000	1,431,207	48,207	

##### 2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 運営費				
A-01 分担金	30,000	30,000	0	東北高文連放送部会費・東北県参加料
A-02 事務費	1,000	80	920	事務費・通信費・会議費
A-03 旅費	40,000	26,720	13,280	第3回理事会等
運営費小計	71,000	56,800	14,200	
B 事業費				
B-01 NHK杯県大会	350,000	204,905	145,095	事業予算・決算別途
B-02 新人大会	380,000	377,559	2,441	事業予算・決算別途
B-03 講習会	512,000	524,724	-12,724	事業予算・決算別途
B-04 研修事業	8,000	139,160	-131,160	全国研修会派遣補助等
事業費小計	1,250,000	1,246,348	3,652	
C 予備費	62,000	0	62,000	
総計	1,383,000	1,303,148	79,852	

##### 3 残高

$$\text{収入済額} - \text{支出済額} = 1,431,207 - 1,303,148 = 128,059$$

監査の結果、適正と認めます。

平成29年2月17日 監査 澤 瀬 政 則  
監査 松 尾 聡

- ・2016(平成28)年度第3回理事会の中間報告後の出納は、無し。東北大会県参加料の返金は2017(平成29)年4月下旬以降の見込み。
- ・登録料について、被災校の免除(3校 30,000円)をおこなった。登録料の前年度決算額との増減は20,000円の増。
- ・収入決算額の前年度決算額との増減は18,000円の増、支出決算額の前年度決算額との増減は78,531円の増。
- ・繰越128,059円は、予算額の8.9%である。

イ 事業費会計① NHK 杯県大会 (2016(平成 28)年度第 2 回理事会で承認済)

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
1 参加料	160,000	177,000	17,000	一般会計収C-01
2 県高総文祭部門費	40,000	27,905	-12,095	一般会計収D-01
3 専門部補助	80,000	0	-80,000	一般会計収D-04
4 強化費	50,000	0	-50,000	一般会計収D-03
5 一般会計より	20,000	0	-20,000	一般会計収B
合計	350,000	204,905	-145,095	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
<b>A 報償費</b>				
A-01 審査員謝金	20,000	0	20,000	NHK以外の専門職審査員の場合1名
A-02 表彰費	53,000	45,624	7,376	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計	73,000	45,624	27,376	
<b>B 旅費</b>				
B-01 県大会関係	55,000	30,325	24,675	第1回理事会・設営等
B-02 上位大会関係	130,000	43,280	86,720	担当者会議(・全国大会運営委員)
旅費小計	185,000	73,605	111,395	
<b>C 需用費</b>				
C-01 食糧費	55,000	52,164	2,836	審査員・係
C-02 資料費	3,000	1,322	1,678	事務用品
需用費小計	58,000	53,486	4,514	
D 役務費	2,000	340	1,660	郵券・上位大会手続き・手数料
E 予備費	32,000	31,850	150	上位大会被災校参加料
総計	350,000	204,905	145,095	

3 残高

$$\text{収入済額} - \text{支出済額} = 204,905 - 204,905 = 0$$

監査の結果、適正と認めます。

平成28年9月2日 監査 澤 瀬 政 則  
監査 松 尾 聡

- ・参加料の決算額は前年度決算額と比べて 15,000 円増加した。
- ・被災校の参加料免除(3校 26 エントリー, 26,000 円), ならびに一般会計の学校登録料免除(3校, 30,000 円)をおこなった。
- ・支出決算額は前年度決算額と比べて 23,236 円減少した。
- ・被災校の東北アナウンス朗読コンテスト参加料 1 名 2,850 円を予備費から支出した。
- ・被災校の NHK 全国高校放送コンテスト全国大会参加料 29,000 円を予備費から支出した。

ウ 事業費会計② 新人大会 (2016(平成28)年度第3回理事会で承認済)

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
1 参加料	140,000	142,000	2,000	一般会計収C-02
2 県高総文祭部門費	40,000	52,095	12,095	一般会計収D-01
3 専門部補助	90,000	170,000	80,000	一般会計収D-04
4 研修費	50,000	5,276	-44,724	一般会計収D-05
5 一般会計より	60,000	8,188	-51,812	一般会計収B
合計	380,000	377,559	-2,441	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
<b>A 報償費</b>				
A-01 審査員謝金	80,000	80,000	0	20,000*4
A-02 表彰費	53,000	52,760	240	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計	133,000	132,760	240	
<b>B 旅費</b>				
B-01 県大会関係	50,000	36,695	13,305	第2回理事会・設営等
B-02 上位大会関係	113,000	123,761	-10,761	高文連全国放送専門部理事会・東北理事会
旅費小計	163,000	160,456	2,544	
<b>C 需用費</b>				
C-01 食糧費	45,000	39,480	5,520	審査員・係
C-02 資料費	3,000		3,000	事務用品
需用費小計	48,000	39,480	8,520	
D 役務費	5,000	2,874	2,126	郵券・上位大会手続き・手数料
E 予備費	31,000	41,989	-10,989	上位大会被災校参加料。不足11円はB-02で支出
総計	380,000	377,559	2,441	

3 残高

$$\text{収入済額} - \text{支出済額} = 377,559 - 377,559 = 0$$

監査の結果、適正と認めます。

平成29年2月17日 監査 澤 瀬 政 則  
監査 松 尾 聡

- ・参加料の決算額は前年度決算額と比べて3,000円増加した。
- ・被災校の参加料免除(3校28エントリー28,000円)をおこなった。
- ・被災校の上位大会参加料(全国高総文祭放送部門1校2,000円、東北高等学校放送コンテスト2校8エントリー40,000円)を予備費から支出した。
- ・支出決算額は前年度決算額と比べて16,911円の増。

エ 事業費会計③ 講習会 (2016(平成28)年度第3回理事会で承認済)

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
1 セミナーサポート費	420,000	430,000	10,000	一般会計収D-02
2 強化費		50,000	50,000	一般会計収D-03
3 専門部補助			0	一般会計収D-04
4 研修費		44,724	44,724	一般会計収D-05
5 一般会計より	92,000		-92,000	一般会計収B
合計	512,000	524,724	12,724	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 報償費	135,000	133,644	1,356	講師謝礼@20,000/日
B 旅費				
B-01 講師旅費	230,000	274,290	-44,290	高文連規定による定額
B-02 講師宿泊費	90,000	88,200	1,800	高文連規定による定額
旅費小計	320,000	362,490	-42,490	
C 需用費				
C-01 資料作成費			0	
C-02 印刷代			0	
C-03 教材作成費			0	
C-04 講師昼食代	50,000	27,690	22,310	講師・役員
C-05 消耗品費			0	
需用費小計	50,000	27,690	22,310	
D 役務費				
D-01 郵便料金	3,000	900	2,100	
D-02 宅配料金			0	
D-03 運搬費	2,000		2,000	
D-04 振込手数料	2,000		2,000	
D-05 その他通信費			0	
役務費小計	7,000	900	6,100	
E 使用料・貸借料				
E-01 会場費			0	
E-02 機器使用料			0	
使用料・貸借料小計	0	0	0	
F 予備費			0	補助金の返金
総計	512,000	524,724	-12,724	

3 残高

$$\text{収入済額} - \text{支出済額} = 524,724 - 524,724 = 0$$

監査の結果、適正と認めます。

平成29年2月17日 監査 澤 瀬 政 則  
監査 松 尾 聡

・ 事業ごとの支出額は次のとおり。

		昨年度決算額比
① アナウンス朗読講習会(7/16)	4,320 円	+440 円
② 放送講習会(9/18)	319,958 円	+132,860 円
③ メディアコミュニケーションセミナー(10/12)	99,932 円	-4,368 円
④ 番組講習会(11/24)	27,620 円	-2,090 円
⑤ アナウンス朗読講習会(12/23)	74,984 円	±0 円
(補助金の県高文連への返金)	0 円	-21,238 円
合計	524,724 円	+104,724 円

協議 2 2017(平成 29)年度役員 (非改選期, 理事校 29 校, 出席者は下線)

専門部長	岩手中・高等学校長	<u>村井伸吾</u>	
副専門部長	盛岡白百合学園高等学校長	荻原禮子	次期事務局校
専門部代表理事	岩手中・高等学校	松田満	事務局長(上位大会担当 <sup>※</sup> )
専門部理事			
岩手県立盛岡第一高等学校	<u>細川純平</u> ・谷藤さなえ・吉田大樹		2032～33 年度事務局校
岩手県立盛岡第二高等学校	<u>小田諭</u> ・新田剛史		2020～21 年度事務局校
岩手県立盛岡第三高等学校	<u>高橋篤志</u> ・大内寿文・長内誠		2022～23 年度事務局校
岩手県立盛岡第四高等学校	<u>澤瀬政則(監事)</u> ・榎本拓・佐藤満		2038～39 年度事務局校
岩手県立盛岡北高等学校	<u>安藤剛</u> ・安藤泰彦		2036～37 年度事務局校
岩手県立盛岡南高等学校	<u>川崎博子</u> ・徳田優子		2024～25 年度事務局校
岩手県立不来方高等学校	<u>金子剛</u> ・高館信子		2026～27 年度事務局校
岩手県立杜陵高等学校定時制	<u>佐々木勝宏</u> ・金井保憲		
岩手県立盛岡工業高等学校	浅野樹哉・ <u>太田原章克</u>		2028～29 年度事務局校
岩手県立盛岡商業高等学校	<u>高橋昭宏</u> ・谷崎勝広・西村隆一・平山道郎		2030～31 年度事務局校
紫波総合高等学校	<u>鈴木勇二(盛岡支部理事・東北大会事務局)</u>		
盛岡市立高等学校	<u>伊藤晃</u>		2034～35 年度事務局校
岩手高等学校	<u>堀江崇子</u>		事務局校
盛岡白百合学園高等学校	<u>松尾聡(監事)</u> ・成田奈穂		次期事務局校
岩手県立花巻北高等学校	<u>八重樫久美子</u>		
岩手県立花巻農業高等学校	<u>濱谷伸広(花巻支部理事)</u>		
岩手県立花北青雲高等学校	<u>村川朋子</u>		
岩手県立黒沢尻北高等学校	<u>二階堂幸枝(北上支部理事)</u> ・晴山翔太郎		
岩手県立北上翔南高等学校	<u>門脇忍</u>		
専修大学北上高等学校	藤原悟・谷口多聞・吉田俊哉		
岩手県立前沢高等学校	<u>川原恵理子</u>		
岩手県立岩谷堂高等学校	内藤勉(奥州支部理事)・及川悠		
岩手県立一関工業高等学校	<u>佐々木亜紀子(一関支部理事)</u> ・鈴木博子		
岩手県立大船渡高等学校	<u>菊田光哉(気仙支部理事)</u>		
岩手県立釜石高等学校	<u>細川正一(釜石支部理事)</u>		
岩手県立宮古高等学校	<u>山崎治子(宮古支部理事)</u> ・畠山多香子		
岩手県立宮古工業高等学校	<u>菊地達哉(上位大会担当<sup>※※</sup>)</u> ・山野目弘		
岩手県立久慈高等学校	村中健太郎(久慈支部理事)		
岩手県立福岡高等学校	<u>曾我範晃(二戸支部理事)</u> ・杉山繭子		

(※ 松田満: NHK 杯運営委員, 東北高文連放送部会理事)

(※※ 菊地達哉: NHK 杯運営部, 高文連全国放送専門部理事, 東北アナ朗事務局)

### 協議3 2017(平成29)年度事業計画ならびに予算

#### (1) 事業計画(2016(平成28)年度第2回理事会までに承認済)

- ・規約第5条により、大会事業・講習会事業・顧問研修事業・その他の4つで構成する。
- ・以下の日程原則に県民会館の改修工事による調整を加えて、次ページのとおり会場を確保している。
- ・東北高等学校放送コンテストを主管する。
- ・9月までの主催事業の要項は、今回の理事会で協議する(NHK杯県大会は協議4、アナウンス朗読講習会は協議5、放送講習会は協議6)。
- 10月以降のものは第2回理事会で協議する。
- ・昨年度までの要項等は、放送専門部のウェブサイトに公開している。

#### 日程原則

- ・第1回理事会(理事総会)…4月中・下旬
- ・NHK杯県大会(県民会館)…6月第2週の月曜・火曜(高総体後・考査前)
- ・セミナーサポート事業①アナウンス朗読講習会(NHK盛岡局,全国大会出場者対象)…7月中旬(NHK盛岡局との協議により決定)
- ・第2回理事会…9月上旬
- ・セミナーサポート事業②放送講習会(県民会館)…9月3連休(以上)の中日(県外校招聘のため)
- ・セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー(県民会館)…体育の日の翌々日の水曜(高総文祭開会式後,新人大会決勝との曜日の一致)
- ・新人大会(県民会館)…11月第2週の火曜・水曜(運動部の新人大会後・考査前)
- ・セミナーサポート事業④番組講習会(県民会館,東北大会出場者対象)…勤労感謝の日の週の平日
- ・セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会(県民会館,東北大会出場者対象)…天皇誕生日(終業式後)
- ・第3回理事会…2月中旬

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	21	金	理事総会・第1回理事会	岩手高校	放送専門部
6	5 6	月 火	第40回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第64回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会	県民会館	放送専門部・NHK
7	1 2	土 日	第17回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト	細野コミュニティセンター	東北高文連 主管事業
7	8 9	土 日	NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	NHK放送センター(東京)	全放連・NHK
7	中旬		セミナーサポート事業①アナウンス朗読講習会	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	24 27	月 金	第64回NHK杯全国高校放送コンテスト	NHKホール他(東京)	全放連・NHK
7	27	金	Nコン番組制作セミナー	(東京)	全放連・NHK
8	2	水	高文連全国放送専門部理事会	日立システムズホール仙台 (仙台市青年文化センター)	全国高文連
8	3 4	木 金	第41回全国高等学校総合文化祭(宮城大会)放送部門	日立システムズホール仙台 (仙台市青年文化センター)	全国高文連
9	1	金	第2回理事会	岩手高校	放送専門部
9	17	日	東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	県民会館	東北高文連
9	17	日	セミナーサポート事業②放送講習会	県民会館	放送専門部
10	3	火	セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー	県民会館他	放送専門部
10	13	金	第40回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式	県民会館 (盛岡中央高校主管)	県高文連 (盛岡支部主管)
10	30 31	月 火	第40回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第35回岩手県高等学校放送新人大会	県民会館	放送専門部
11	2	木	第13回高校生交通安全テレビCMコンテスト	盛岡グランドホテル	協力事業 岩手県
11	22	水	セミナーサポート事業④番組講習会	県民会館	放送専門部
12	23	土	セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会	県公会堂	放送専門部
12	26 27	火 水	校内放送指導者講座	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK
2	3 4	土 日	第21回東北高等学校放送コンテスト	岩手県公会堂	東北高文連 主管事業
2	16	金	第3回理事会・会計監査・事務局引き継ぎ	岩手高校	放送専門部
3	24	金	番組講習会	(おでって)	盛岡支部

- ・7月の東北アナ朗コンテストは土日開催。
- ・9月の放送講習会の県外からの招聘は、東京都立上水高校の井桁寛子先生(NHK杯全国大会企画総務部・アナウンス部門・朗読部門担当)と生徒。
- ・10月メディアコミュニケーションセミナーと11月新人大会が、原則と異なる日程になる。

## ア 大会事業

### ① 主催大会

いずれも第40回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会、ならびに上位大会の県予選として開催する。上位大会出場を前提としてエントリーすること。

大会は、2日日程(1日めは午後から番組の予選のみ、2日めにアナ朗予選と全部門決勝)を原則とし、エントリー数によっては1日開催とする。参加申込み締切は、大会3週間前を原則とする。

参加料は、1エントリー当たり1,000円。参加料の免除については、被災校・被災者に対して当面継続する。免除対象の判断は参加校の校長がおこなうこととし、大会の案内文書に記載する。参加料免除のエントリーが上位大会に進出した場合、上位大会の参加料は、放送専門部の会計から支出する。

### ② 上位大会 (担当: 宮古工業・菊地)

- ・第17回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト(安比) 7/1-2 主管事業

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/anarou/> 岩手県高文連放送専門部の主管で実施。

夏の全国大会アナ朗代表対象。

- ・第64回NHK杯全国高校放送コンテスト(東京) 7/24-27

[http://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon\\_h/](http://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon_h/) NHK杯県大会の上位大会。

全国大会運営部に宮古工業・菊地、運営委員に岩手・松田を岩手県から推薦。

全国大会についての詳細は6/6の代表校打合せにて説明する。

参加料はアナ朗5,000円、番組8,000円、研究発表4,000円。

- ・第41回全国高等学校総合文化祭放送部門(宮城県仙台市) 8/3-4

<http://www.miyagi-soubun.jp/> 前年度新人大会の上位大会。代表は次のとおり。

- ・アナウンス部門…盛岡白百合学園(3)奥山あかり・(3)村田佳子、盛岡第二(3)本郷晴乃
- ・朗読部門…盛岡第一(3)谷藤遥、不来方(3)佐藤玲香、花巻北(3)高橋美綺
- ・オーディオピクチャー部門…宮古工業、ビデオメッセージ部門…花巻農業、黒沢尻北

#### 準備日程

- ・4/28(金)正午 部門別参加票・作品・書類等一式集約(郵送等) → 宮古工業・菊地

**表彰**…各ブロックから1名(1本)を優秀賞に選出、総合成績1位の都道府県に文部科学大臣賞・2位に文化庁長官賞を授与する

- ・宮城大会のグループ(ブロック)

アナウンス部門: ブロックC(岩手・秋田・新潟・山梨・佐賀・沖縄) 8/4・10:40-11:15?

朗読部門: ブロックF(岩手・栃木・群馬・三重・岡山・熊本) 8/3・15:15-16:00?

AP部門: ブロックC/D(岩手・埼玉・岐阜・福井・岡山・大分 / 青森・長野・東京・静岡・三重・熊本) 8/3・1日め11:25-12:25?

VM部門: ブロックC(岩手・埼玉・岐阜・福井・岡山・大分) 8/4・09:00-10:00?

運営関係(2016(平成 28)年度第 2 回理事会で連絡済)

- ・ブロック内での順位の公表(3 位まで), 総合順位 6 位までの公表を 2016(平成 28)年度(広島大会)から実施。
- ・ブロック内 3 位までのうち, 従来の優秀賞・特別賞該当以外を優良賞とするなどの表彰の改定を岩手として提案しており, 2017(平成 29)年度(宮城大会)の全国理事会で検討する。
- ・2018(平成 30)年度(長野大会)特設の部門として CM 部門を開催する。
- ・2018(平成 30)年度(長野大会)から, 番組のデータでの提出について検討している。
- ・第 21 回東北高等学校放送コンテスト(岩手県公会堂)2018(平成 30)年 2/2(準備)・3-4(大会)
  - ・主管事業。大会事務局: 紫波総合高校・鈴木勇二
  - ・今年度の新人大会の上位大会。キャンペーン部門のキーワードは「ガマン」
  - ・開催県の増枠としてアナウンス・朗読が+2, ラジオキャンペーン・テレビキャンペーンが+1 →協議 7
- ・第 42 回全国高等学校総合文化祭放送部門
  - ・長野県岡谷市 カノラホール 2018(平成 30)年 8/9-10
  - ・今年度の新人大会の上位大会。

## イ 講習会事業

- ① 主催講習会…いずれの講習会も, セミナーサポート事業として開催する。参加料は無料。参加申込み締切は, 開催 2 週間前を原則とする。
  - ・アナウンス朗読講習会(NHK 盛岡局?) 7 月中旬 →協議 5  
NHK 杯全国大会・全国総文祭のアナウンス部門・朗読部門代表対象
  - ・放送講習会(県民会館) 9/17 →協議 6
  - ・メディアコミュニケーションセミナー(県民会館) 10/3  
TVI・IBC などの専門職による部門別(アナウンス・朗読・テレビ・ラジオ)講習
  - ・番組講習会(県民会館) 11/22 東北大会代表対象
  - ・アナウンス朗読講習会(県民会館) 12/23 東北大会アナ朗代表対象
  - ・番組講習会 3/24 盛岡支部主催
- ② 上位大会関連・協力事業関連…放送専門部のウェブサイト, メーリングリスト等で周知。
  - ・N コン番組制作セミナー, 交通安全テレビ CM コンテスト講習会, 短歌甲子園司会講習会他

## ウ 研修事業

予算の執行状況をみて、**校内放送指導者講座**(12/26-27, 東京)への派遣と参加補助, 他県の研修会・講習会等への生徒の派遣補助を検討する。他県の行事については, メーリングリストで周知する。

## エ その他

- ① **部員数調査**…5月に実施し, メーリングリストと第2回理事会で報告。→連絡3(2)
- ② **県内諸団体からの協力要請によるもの**…県高総体総合開会式, 県高総文祭総合開会式, 高総体開会式, いわて教育の日記念行事, 県内マスコミの依頼(IAT 純情応援歌)等について協力する。

県高総文祭総合開会式の担当は次のとおり。

- ・2017(平成29)年度盛岡支部(盛岡中央高校主管) 県民会館
- ・2018(平成30)年度北上支部(黒沢尻工業高校主管) さくらホール
- ・2019(平成31)年度一関支部(花泉高校主管?)
- ・2020(平成32)年度盛岡支部(盛岡大学附属高校主管?)
- ・2021(平成33)年度釜石支部
- ・2022(平成34)年度宮古支部

- ③ **高文連表彰**…県高文連表彰規定により, 次に該当するものを推薦する。第2回理事会で報告。

- ・**連盟賞(生徒表彰)**…2016(平成28)年9月1日(昨年度の全国高総文祭を除く)～2017(平成29)年8月31日に全国大会(総文祭・NHK杯など)で優良賞(3位)以内に入賞した個人及び部(団体)。
- ・**功労賞(教職員表彰)**…2016(平成28)年4月1日～2017(平成29)年3月31日に退職した教職員で, 専門部長経験者, 専門部の事務局長(代表理事)を3年以上担当した方, 指導者として全国大会優良賞(3位)以内に入賞させた方, 指導者として全国大会に10回以上出品・出演させた方のいずれかにあたる方を専門部として推薦する。

- ④ **全国総文祭(宮城)生徒観覧推奨事業**

- ・県高文連の今年度限りの事業。
- ・1専門部あたり20万円を上限として全国総文祭見学の生徒旅費(交通費のみ)を補助。
- ・引率旅費は各校負担。
- ・放送専門部としては, 日帰りの団体を2日組んで対応したい。

詳細は6月のNHK杯県大会後に希望をとって示す。

参考: 新幹線利用(盛岡→旭ヶ丘1時間10分)の学生団体の場合, 9名×2日で約20万円  
高速バス利用(盛岡→旭ヶ丘2時間40分)の場合, 17名×2日で約20万円  
JR普通利用(盛岡→旭ヶ丘3時間40分)の学生団体の場合, 25名×2日で約20万円  
貸切バス2日利用は20万円では成立しない(2014年の東北大会時は2台38万円)

## (2) 予算

## ア 一般会計

## 1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 前年度繰越	128,059	132,202	132,202	-4,143	
B 登録料	180,000	180,000	200,000	0	1校あたり10,000
C 参加料					
C-01 NHK杯県大会参加料	160,000	160,000	177,000	0	1エントリーあたり1,000
C-02 新人大会参加料	140,000	140,000	142,000	0	1エントリーあたり1,000
参加料小計	300,000	300,000	319,000	0	
D 補助金					
D-01 県高総文祭部門費	80,000	80,000	80,000	0	NHK杯40,000・新人大会40,000
D-02 セミナーサポート費	430,000	420,000	430,000	10,000	講習会430,000
D-03 強化費	50,000	50,000	50,000	0	NHK杯50,000
D-04 専門部補助	170,000	170,000	170,000	0	NHK杯80,000・新人大会90,000
D-05 研修費	50,000	50,000	50,000	0	新人大会50,000
補助金小計	780,000	770,000	780,000	10,000	別途東北大会補助100,000
E 雑収入	941	798	5	143	利息
合計	1,389,000	1,383,000	1,431,207	6,000	

## 2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 運営費					
A-01 分担金	30,000	30,000	30,000	0	東北高文連放送部会費・東北県参加料
A-02 事務費	1,000	1,000	80	0	事務費・通信費・会議費
A-03 旅費	40,000	40,000	26,720		第3回理事会等
運営費小計	71,000	71,000	56,800	0	
B 事業費					
B-01 NHK杯県大会	350,000	350,000	204,905	0	事業予算・決算別途
B-02 新人大会	350,000	380,000	377,559	-30,000	事業予算・決算別途
B-03 講習会	460,000	512,000	524,724	-52,000	事業予算・決算別途
B-04 研修事業	8,000	8,000	139,160	0	全国研修会派遣補助等
事業費小計	1,168,000	1,250,000	1,246,348	-82,000	
C 予備費	150,000	62,000	0	88,000	
総計	1,389,000	1,383,000	1,303,148	6,000	

イ 事業費会計① NHK 杯県大会

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
1 参加料	160,000	160,000	177,000	0	一般会計収C-01
2 県高総文祭部門費	40,000	40,000	27,905	0	一般会計収D-01
3 専門部補助	80,000	80,000	0	0	一般会計収D-04
4 強化費	50,000	50,000	0	0	一般会計収D-03
5 一般会計より	20,000	20,000	0	0	一般会計収B
合計	350,000	350,000	204,905	0	

2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
<b>A 報償費</b>					
A-01 審査員謝金	20,000	20,000	0	0	NHK以外の専門職審査員の場合1名
A-02 表彰費	53,000	53,000	45,624	0	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計	73,000	73,000	45,624	0	
<b>B 旅費</b>					
B-01 県大会関係	55,000	55,000	30,325	0	第1回理事会・設営等
B-02 上位大会関係	130,000	130,000	43,280	0	担当者会議・全国大会運営委員会
旅費小計	185,000	185,000	73,605	0	
<b>C 需用費</b>					
C-01 食糧費	55,000	55,000	52,164	0	審査員・係
C-02 資料費	3,000	3,000	1,322	0	事務用品
需用費小計	58,000	58,000	53,486	0	
D 役務費	2,000	2,000	340	0	郵券・上位大会手続き・手数料
E 予備費	32,000	32,000	31,850	0	上位大会被災校参加料
総計	350,000	350,000	204,905	0	

## ウ 事業費会計② 新人大会

### 1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
1 参加料	140,000	140,000	142,000	0	一般会計収C-02
2 県高総文祭部門費	40,000	40,000	52,095	0	一般会計収D-01
3 専門部補助	90,000	90,000	170,000	0	一般会計収D-04
4 研修費	50,000	50,000	5,276	0	一般会計収D-05
5 一般会計より	30,000	60,000	8,188	-30,000	一般会計収B
合計	350,000	380,000	377,559	0	

### 2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
<b>A 報償費</b>					
A-01 審査員謝金	80,000	80,000	80,000	0	20,000*4
A-02 表彰費	55,000	53,000	52,760	2,000	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計	135,000	133,000	132,760	2,000	
<b>B 旅費</b>					
B-01 県大会関係	50,000	50,000	36,695	0	第2回理事会・設営等
B-02 上位大会関係	50,000	113,000	123,761	-63,000	高文連全国放送専門部理事会・東北理事会
旅費小計	100,000	163,000	160,456	-63,000	
<b>C 需用費</b>					
C-01 食糧費	45,000	45,000	39,480	0	審査員・係
C-02 資料費	5,000	3,000		2,000	事務用品
需用費小計	50,000	48,000	39,480	2,000	
D 役務費	5,000	5,000	2,874	0	郵券・上位大会手続き・手数料
E 予備費	60,000	31,000	41,989	29,000	上位大会被災校参加料
総計	350,000	380,000	377,559	-30,000	

## エ 事業費会計③ 講習会

### 1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
1 セミナーサポート費	430,000	420,000	430,000	10,000	一般会計収D-02
2 強化費			50,000	0	一般会計収D-03
3 専門部補助				0	一般会計収D-04
4 研修費			44,724	0	一般会計収D-05
5 一般会計より	30,000	92,000		-62,000	一般会計収B
合計	460,000	512,000	524,724	-52,000	

### 2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
<b>A 報償費</b>	135,000	135,000	133,644		講師謝礼@20,000/日
<b>B 旅費</b>					
B-01 講師旅費	190,000	230,000	274,290	-40,000	高文連規定による定額
B-02 講師宿泊費	90,000	90,000	88,200	0	高文連規定による定額
旅費小計	280,000	320,000	362,490	-40,000	
<b>C 需用費</b>					
C-01 資料作成費			200	0	
C-02 印刷代				0	
C-03 教材作成費				0	
C-04 講師昼食代	40,000	50,000	27,690	-10,000	講師・役員
C-05 消耗品費				0	
需用費小計	40,000	50,000	27,890	-10,000	
<b>D 役務費</b>					
D-01 郵便料金	1,000	3,000	900	-2,000	
D-02 宅配料金				0	
D-03 運搬費	2,000	2,000		0	
D-04 振込手数料	2,000	2,000		0	
D-05 その他通信費				0	
役務費小計	5,000	7,000	900	-2,000	
<b>E 使用料・貸借料</b>					
E-01 会場費				0	
E-02 機器使用料				0	
使用料・貸借料小計	0	0	0	-2,000	
<b>F 予備費</b>				0	
総計	460,000	512,000	524,924	-52,000	

・事業ごとの支出見込額は次のとおり。

		昨年度決算額比
① アナウンス朗読講習会(7月)	5,000円	680円増
② 放送講習会(9/20)	230,000円	89,958円減
③ メディアコミュニケーションセミナー(10/14)	115,000円	15,068円増
④ 番組講習会(11/29)	30,000円	4,470円増
⑤ アナウンス朗読講習会(12/23)	80,000円	5,016円増

(番組講習会(3月)への補助は一般会計支出 B-34 から)

合計	460,000円	64,724円減
----	----------	----------

#### 協議 4 NHK 杯県大会要項

(省略 放送専門部のサイト参照 <http://www2.iwate-ed.jp/housou/>)

#### 協議 5 アナウンス朗読講習会要項

(省略 日時決定後に放送専門部のサイトに掲載 概要は次のとおり)

1. **日時** 2017(平成 29)年 7 月中旬(NHK 盛岡局との協議による。昨年は 7 月 16 日(土)13:00~15:00)
2. **会場** NHK 盛岡放送局 盛岡市上田 4-1-3 電話 019-626-8811
3. **対象** この夏に開催される放送の全国大会(NHK 杯, 全国総文祭)のアナウンス部門・朗読部門に参加する生徒ならびに顧問。
4. **持参するもの** アナウンスまたは朗読原稿(様式は NHK 杯と同じ) 2 部
5. **講師** NHK 盛岡放送局のアナウンサー
6. **参加料** 無料
7. **申込み** 日時決定後に ML で申込み期限をお知らせします。
8. **その他** 旅費等については, 当部会では負担いたしません。あらかじめご了承ください。聴講を希望する場合は, 事務局までお問い合わせ下さい。

#### 協議 6 放送講習会要項

(省略 放送専門部のサイト参照 <http://www2.iwate-ed.jp/housou/>)

#### 協議 7 第 21 回東北高等学校放送コンテスト(2/2-4 開催)について

- ・主管・実行委員会: 岩手県高文連放送専門部(代表校・盛岡支部の理事校を中心に組織)
- ・大会事務局: 紫波総合高校・鈴木勇二
- ・開催県の増枠としてアナウンス・朗読が+2, ラジオキャンペーン・テレビキャンペーンが+1
- ・実施要項, 予算等の詳細は第 2 回理事会で協議し, 9/17 の東北理事会で決定。
- ・会場について調整中。
- ・2017(平成 29)年 2 月 4 日の東北高文連放送部会総会で示した要項等は次ページ以降のとおり。

# 第 21 回東北高等学校放送コンテスト岩手大会 開催要項 (20170204 案)

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/tohoku/> (確定した要項は 2017 年 9 月に公表予定)

## 1. 目的

豊かな創造性と未来への展望を持つ人間としての高校生に対して、校内放送をとおり番組の制作技術の向上、表現力、創造性の開発および、豊かなコミュニケーションと文化活動の振興を図る。

## 2. 主催

東北地区高等学校文化連盟放送部会

## 3. 共催(予定)

岩手県教育委員会・岩手県高等学校文化連盟

## 4. 主管

岩手県高等学校文化連盟放送専門部

## 5. 後援(予定)

盛岡市教育委員会・報道各社

## 6. 日時

2018(平成 30)年 2 月 3 日(土)11:30~18:00

2018(平成 30)年 2 月 4 日(日) 9:00~14:30

## 7. 会場

岩手県公会堂 <http://iwate-kokaido.jp/>

〒020-0023 岩手県盛岡市内丸 11-2

盛岡駅よりバス(バスセンター行 他)にて「県庁・市役所前」下車, 正面 tel. 019-623-4681

## 8. 開催部門 (参加規程, 制作・審査規程参照)

(1)アナウンス部門

(2)朗読部門

(3)ラジオキャンペーン部門

(4)テレビキャンペーン部門

## 9. 審査員 (制作・審査規程参照)

大会会長が委嘱する専門職審査員および各県代表の教育職審査員による。

## 10. 表彰

(1)アナウンス部門・朗読部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(トロフィー)

優秀賞 2 賞状・副賞(トロフィー)

優良賞 3 賞状・副賞(楯)

入選 4 賞状

奨励賞 10 賞状

(2)ラジオキャンペーン部門・テレビキャンペーン部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(トロフィー)

優秀賞 2 賞状・副賞(トロフィー)

優良賞 3 賞状・副賞(楯)

入選 4 賞状

## 11. 日程(予定)

2月3日(土)

11:30~12:30 総合受付(西口ギャラリー)

11:40~12:20 準決勝審査員打合せ・昼食(15号室)

12:30~13:00 開会行事(大ホール)

13:10~15:00 ラジオキャンペーン部門準決勝(大ホール)

13:30~15:00 アナウンス部門準決勝

A(21号室), B(26号室)

15:00~16:50 テレビキャンペーン部門準決勝(大ホール)

朗読部門準決勝A(21号室), B(26号室)

17:00~18:00 講演会(生徒対象, 大ホール)

総会(顧問会議, 26号室)

2月4日(日)

9:00 開場

9:15 決勝進出發表・決勝受付(大ホール)

9:15~ 9:30 決勝審査員打合せ(15号室)

9:50~10:20 ラジオキャンペーン部門決勝(大ホール)

10:20~10:50 テレビキャンペーン部門決勝(大ホール)

11:00~11:40 アナウンス部門決勝(大ホール)

11:50~12:40 朗読部門決勝(大ホール)

12:40~13:30 昼食・休憩, 決勝審査会・昼食(15号室)

13:30~14:00 講評(大ホール)

14:00~14:30 閉会行事(大ホール)

## 12. 各種規定

参加規程, 制作・審査規程, 様式等は, 別に定める。岩手県高等学校文化連盟放送専門部のwebサイトで公開する。 <http://www2.iwate-ed.jp/housou/tohoku/>

## 13. 宿泊等

宿泊および昼食の斡旋, 指導者研修会(2月3日)の申込み受付については, 別紙により指定業者が行う。

申込締切: 2017(平成 29)年 12 月 8 日(金)

# 第 21 回東北高等学校放送コンテスト岩手大会 参加規程 (20170204 案)

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/tohoku/> (確定した規程は 2017 年 9 月に公表予定)

## 1. 参加資格

各県事務局から推薦された個人または学校。

## 2. 各県推薦(エントリー)

### (1) 推薦(エントリー)数

ア アナウンス部門・朗読部門…各県 12 名以内, 開催県は 14 名以内, かつ, 1 名 1 部門。

イ ラジオキャンペーン部門・テレビキャンペーン部門…各県 6 本以内, 開催県は 8 本以内, かつ, それぞれの部門について各校 2 本以内。

### (2) 推薦(エントリー)締切 2017(平成 29)年 12 月 8 日(金)正午

(3) 推薦(エントリー)方法 各県事務局から大会事務局に, 別に配付する様式により作成した電子データを, メールで送付する。

(4) エントリー後のエントリー内容の変更は認めない。

## 3. 参加料

(1) 各部門とも 1 名(1 本)につき, 5,000 円

県参加料 1 県につき, 20,000 円

(2) 納入期限 2017(平成 29)年 12 月 8 日(金)正午

(3) 納入方法 各県事務局がとりまとめの上, 大会の口座に振り込む。振込手数料は, 各県事務局負担。

〇〇銀行 〇〇支店

普通 〇〇〇〇〇〇〇〇

東北高校放送コンテスト 〇〇〇〇

(4) その他 領収書は各県事務局のものとする。

## 4. 原稿・番組進行表・メディアの提出

(1) 提出する原稿・番組進行表・メディアの数

ア アナウンス部門・朗読部門 原稿 3 部

イ ラジオキャンペーン部門 CD1 枚・番組進行表 3 部

ウ テレビキャンペーン部門 DVD または BD1 枚・番組進行表 3 部

(2) 提出締切 2018(平成 30)年 1 月 19 日(金)正午必着

(3) 提出方法 各県事務局とりまとめの上, 大会事務局に, 郵送等により送付する。費用は各県事務局負担。

## 5. その他

(1) 当コンテストのために集められた個人情報については, コンテストの目的以外には使用しない。

(2) 使用著作物については, 著作隣接権を含め, 権利者の許諾を得るとともに, 制作者の責任において権利関係を適切に処理すること。

(3) 応募された番組などは, 主催者に関連する印刷媒体, ウェブサイト, 放送などで利用することがある。制作にあたっては, 番組に登場する著作物や出演者, 協力していただいた方々などから, 公開の承諾を得ておくこと。

## 6. 大会事務局

岩手県立紫波総合高等学校 鈴木勇二

(メール未定) (大会専用)

〒028-3305 岩手県紫波郡紫波町日詰字朝日田 1

tel. 019-672-3690 fax. 019-672-2647

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/tohoku/>

## 手続き一覧

送付者	内容	方法	送付先	締切
参加校	宿泊・昼食・指導者研修会参加申込み	FAX	指定業者	12 月 8 日(金)正午
	宿泊・昼食・指導者研修会代金	口座振込	指定業者口座	(業者の指定期日)
各県事務局	参加者・参加校推薦, 審査員報告	メール	大会事務局	12 月 8 日(金)正午
	参加料, 東北高文連放送部会費	口座振込	大会事務局口座	
	原稿/番組進行表・メディア	郵送等	大会事務局	1 月 19 日(金)正午必着

## 第 21 回東北高等学校放送コンテスト岩手大会 制作・審査規程 (20170204 案)

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/tohoku/> (確定した規程は 2017 年 9 月に公表予定)

### 1. アナウンス部門

- (1) 内容 次のア、イのいずれかの規定による。
- ア NHK 杯全国高校放送コンテストの規定: 自校の校内放送に使用するものとし、原稿を生徒が自作したものに限る。
- イ 次年度の全国高等学校総合文化祭放送部門の規定: 郷土の話題を全国の高校生に伝える内容の自作原稿。なお、静止画は使用できない。
- (2) 規定時間 番号と氏名を読むこととし、それらを含め、1 分 10 秒以上 1 分 30 秒以内。
- (3) 原稿様式 次のア・イにより作成する。
- ア 表紙は様式 1-1, 2 ページは様式 1-2, 3 ページ以降は様式 1-3 による。
- イ 原稿の大きさは A4 判の袋とじ(2 カ所)とし、仕上り A5 縦判で 3 部作成する。
- (4) 審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。
- ア 内容
- (a) 素材の選び方は適当であるか
  - (b) 文章表現は適当であるか
- イ アナウンスの技術
- (a) 自然な発声で聞き手に伝わるようにアナウンスされているか
    - ・発声・発音・マイクの使い方
  - (b) 正しく伝える抑揚表現ができていないか
    - ・内容把握・イントネーション・プロミネンス・アクセント
  - (c) 間(ポーズ)は適切か
    - ・テンポ・ポーズ
- (5) 準決勝
- ア 出場者は、A・B の 2 会場に分かれて、エントリー番号順に、事前に提出した原稿をアナウンスする。
- イ 各会場から 10 名ずつ、計 20 名を決勝に推薦する。
- ウ 不測の事態による遅刻と会長が認めた場合に限り、次の措置をとることができるものとする。
- (a) 準決勝終了までに到着した場合、エントリー番号にかかわらず準決勝の発表を認める。
  - (b) 準決勝に間に合わない場合、決勝での発表を認める。ただし原則として表彰の対象としない。

### 2. 朗読部門

- (1) 内容 次のア、イのいずれかの規定による。いずれの場合も作品の改変は認めない。抽出は文頭から開始し、文末で終了とすること。
- ア 次年度の NHK 杯全国高校放送コンテストの指定

作品、またはその作家の作品。なお指定作品は次のとおり。

- ①「○○○○」○○○○(○○文庫)
- ②「○○○○」○○○○(○○文庫、収録作品のいずれも可)
- ③「○○○○」○○○○(○○文庫)
- ④「○○○○」○○○○著、○○○○訳(○○文庫)
- ⑤「○○○」○○○○(現代語訳不可、出版社不問)

イ 次年度の全国高等学校総合文化祭放送部門の規定: それぞれの郷土にゆかりのある作家または作品。なお、SE や BGM は使用できない。

- (2) 規定時間 番号、氏名、著者名(訳者名は読まない)、作品名(短編集は短編名)を読むこととし、それらを含め、1 分 30 秒以上 2 分 00 秒以内。
- (3) 原稿様式 次のア・イ・ウにより作成する。
- ア 表紙は様式 1-1, 2 ページは様式 1-2, 3 ページ以降は様式 1-3 による。
- イ 原稿の大きさは A4 判の袋とじ(2 カ所)とし、仕上り A5 縦判で 3 部作成する。
- ウ 短編集を選択した場合は作品名の欄に短編名を記入する。
- (4) 審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。

- ア 内容
- (a) 作品の選定は適当であるか
  - (b) 朗読として適切な部分を抽出しているか
- イ 朗読の技術
- (a) 内容表現上、声の出し方や言葉の運びが自然で適切か
    - ・発声・発音・マイクの使い方
  - (b) 正しく伝える抑揚表現ができていないか
    - ・内容把握・イントネーション・プロミネンス・アクセント
  - (c) 間(ポーズ)は適切か
    - ・テンポ・ポーズ

- (5) 準決勝
- ア 出場者は、A・B の 2 会場に分かれて、エントリー番号順に、事前に提出した原稿を朗読する。
- イ 各会場から 10 名ずつ、計 20 名を決勝に推薦する。
- ウ 不測の事態による遅刻と会長が認めた場合に限り、次の措置をとることができるものとする。
- (a) 準決勝終了までに到着した場合、エントリー番号にかかわらず準決勝の発表を認める。
  - (b) 準決勝に間に合わない場合、決勝での発表を認める。ただし原則として表彰の対象としない。

### 3. ラジオキャンペーン部門

- (1)内容 指定するキーワードを題材とした番組。
- ア 高校生らしい自由な視点からアピールする。
- イ 内容や構成は自由とするが、学校生活のみならず、広く社会に視点を求めた高校生らしい切り口や主張のある作品が望ましい。
- ウ 番組は、参加資格を有する自校生徒オリジナルのものであること。すでに発表・放送・出版されたものや、他の作品などからの脚色や改作は認めない。
- エ 放送番組として不適切な内容や表現を含まないこと。
- (2)キーワード 「ガマン」
- (3)規定時間 30秒以上1分00秒以内。
- (4)制作様式 次のア～キにより制作する。
- ア CD-DA形式(オーディオCDの形式)で作成したCD-Rを提出する。
- イ メディアには、エントリー番号・学校名・タイトルを様式4によりプリントすることとする。
- ウ 再生は、原則としてステレオ(L/R)で行う。
- エ 最初に「部門名」「作品名」の順でクレジットコールを入れたのち、3秒後に本編を開始する。
- オ 本編の最後の音から3秒後に「制作は〇〇高等学校(放送部・委員会)でした」のクレジットコールを入れる。
- カ クレジットコールにはBGMや効果音をつけない。
- キ 計時は本編の最初の音から、終わりのクレジットコールの「制作は〇〇高等学校(放送部・委員会)でした」の「せ」の音までとし、その計測値から3秒を差し引いた値をもって再生時間とみなす。
- (5)番組進行表様式 次のア～オにより作成する。
- ア タイトルの文字は、JISコードの範囲内の全角15文字相当以内とする。
- イ 表紙は様式2-1、2ページは様式2-2「CUEシート」、以下、様式2-3「権利処理一覧表」、様式2-4「音源使用許諾書」、様式2-5「取材許諾・著作物等ご提供のお願い」とする。他の著作物を使用していないなど記載する内容がない場合は「なし」と記載して付す。
- ウ 他の著作物を使用した場合は、JASRAC等の明細書、権利フリー音源であることを示すレーベル面のコピー、その他使用したすべての著作物について、使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。
- オ 番組進行表の大きさはA4縦判・左上1か所綴じとし、3部作成する。
- (6)審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。
- ア テーマ
- (a)指定のキーワードを理解し、番組内容にテーマ

を効果的に表現しているか

- (b)ラジオの特性を活かして作品に表現しているか
- イ 制作技術
- (a)制作の手法
- (b)取材の方法や努力
- (c)企画構成
- (d)演出・編集
- (e)技術
- ・録音の技術
- ・アナウンスやナレーションの技術
- ・音楽や効果音の使い方など
- (7)準決勝
- 10本を決勝に推薦する。

### 4. テレビキャンペーン部門

- (1)内容 指定するキーワードを題材とした番組。
- ア 高校生らしい自由な視点からアピールする。
- イ 内容や構成は自由とするが、学校生活のみならず、広く社会に視点を求めた高校生らしい切り口や主張のある作品が望ましい。
- ウ 番組は、参加資格を有する自校生徒オリジナルのものであること。すでに発表・放送・出版されたものや、他の作品などからの脚色や改作は認めない。
- エ 放送番組として不適切な内容や表現を含まないこと。
- (2)キーワード 「ガマン」
- (3)規定時間 30秒以上1分00秒以内。
- (4)制作様式 次のア～オにより制作する。
- ア NTSCワイド16:9・DVD-Video形式のDVD-R、または、MPEG-4・AVC/H.264・BD-RE形式のBD-Rを提出する。
- イ メディアには、エントリー番号・学校名・タイトルを様式4によりプリントすることとする。
- ウ 音声の再生は、原則としてステレオ(L/R)で行う。
- エ 本編の前後に10秒間ずつ、様式3のテストパターンを入れる。テストパターンは無音とする。
- オ 計時は初めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの最初までとする。
- (5)番組進行表様式 次のア～オにより作成する。
- ア タイトルの文字は、JISコードの範囲内の全角15文字相当以内とする。
- イ 表紙は様式2-1、2ページは様式2-2「CUEシート」、以下、様式2-3「権利処理一覧表」、様式2-4「音源使用許諾書」、様式2-5「取材許諾・著作物等ご提供のお願い」とする。他の著作物を使用していないなど記載する内容がない場合は「なし」と記載して付す。
- ウ 他の著作物を使用した場合は、JASRAC等の明細書、権利フリー音源であることを示すレーベル面

のコピー、その他使用したすべての著作物について、使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ 番組進行表の大きさはA4縦判・左上1か所綴じとし、3部作成する。

(6) 審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。

ア テーマ

(a) 指定のキーワードを理解し、番組内容にテーマを効果的に表現しているか

(b) テレビの特性を活かして作品に表現しているか

イ 制作技術

(a) 制作の手法

(b) 取材の方法や努力

(c) 企画構成

(d) 演出・編集

(e) 技術

・撮影や録音の技術

・アナウンスやナレーションの技術

・音楽や効果音の使い方など

(7) 準決勝

10本を決勝に推薦する。

## 5. 審査員(全部門共通)

(1) 準決勝 専門職審査員1名以上および教育職審査員6名(各県1名)の7名以上で行う。

(2) 決勝 専門職審査員3名以上および教育職審査員6名(各県1名)の9名以上で行う。

## 6. 採点・講評(全部門共通)

(1) 部門の「審査の視点」に基づき、100点法、1点刻みで総合的に採点する。

(2) 採点のめやすは次のとおりとする。

20 30 40 50 60 70 80 90 100

普通 良い 大変良い

(3) 各審査員は、得点一覧を、会場ごとに定める審査主査(開催県教育職審査員)に提出する。

(4) 各審査員は、準決勝および決勝のすべての発表ごとに、講評を記載する。

## 7. 得点集計および順位(全部門共通)

(1) 得点集計と順位

ア 準決勝 すべての審査員の合計点から最高点と最低点を除いた審査点の高い順に順位を決定する。

2 会場に分かれる部門では、会場ごとに順位を決定する。

イ 決勝 すべての審査員の合計点から最高点と最低点を除いた審査点の高い順に順位を決定する。

(2) 順位決定の特例 合計点と同じ場合は次のア～ウの順に従って順位を決定する。

ア 専門職の得点(専門職が複数の場合はその合計点)の高い方を上位とする。

イ カットされた得点の高い方を上位とする。

ウ イで同点の場合は、審査会で順位を決定する。

(3) 準決勝の審査会は、各部門の教育職審査員で構成する。準決勝審査会は(2)ウの場合のみに開催するものとし、18時までに審査会の有無を総会(顧問会議)に通知する。18時までに審査会の有無が決まらず、その後に審査会が必要になった場合のみ、審査主査に審査会の権限を委任する。

(4) 決勝の審査会は、各部門の審査員全員で構成する。決勝審査会は必ず開催するものとする。

## 8. 決勝(全部門共通)

(1) 決勝進出發表は決勝当日の朝に会場で行い、指定する場所でエントリーの手続きを行う。

(2) 決勝のエントリー順は乱数を用いて指定する。

(3) 決勝審査では、準決勝の得点を参考にしない。

## 9. 規定違反(全部門共通)

(1) 規定違反は審査の対象としない。なお、重大な違反が判明した場合は、大会後においても賞を取り消すことがある。

(2) 計時の許容範囲は、アナウンス部門と朗読部門は±2秒、ラジオキャンペーン部門とテレビキャンペーン部門は±1秒とする。ただしアナ朗決勝でのタイムオーバーのみ失格とせず、得点にかかわらず奨励賞とする。

## 10. 講評・審査結果一覧(全部門共通)

(1) 講評用紙はコンテスト終了後に該当校に交付する。

(2) 提出物はコンテスト終了後に各校に返却する。

(3) 審査結果一覧(合計・上下カット後の審査点のみ)は、コンテスト終了後に各県事務局に送付する。

## 協議 8 その他

## 連絡 1 2018(平成 30)年度以降の予定

### (1) 2018(平成 30)年度の日程 (2016(平成 28)年度第 3 回理事会で連絡済)

- ・協議 3(1)の日程原則に県民会館改修工事による調整を加えて、以下のとおり会場予約の申請中。
- ・県民会館の改修工事のため、6月までは県民会館利用不可。
- ・放送講習会は県民会館の確保不可。
- ・メディアコミュニケーションセミナーと新人大会は月曜日開催の予定。
- ・新人大会は前日の夜区分しか確保できないため、1日開催の予定。
- ・11月番組講習会は平日が確保できないため、休日開催の予定。

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	中・下旬		理事総会・第1回理事会	盛岡白百合学園高校	放送専門部
6	4 5	月 火	第41回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第65回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会	県公会堂	放送専門部・NHK
6 7	30 1	土 日	第18回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト	細野コミュニティセンター	東北高文連 主管事業
7	7 8	土 日	NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	NHK放送センター(東京)	全放連・NHK
7	中旬		セミナーサポート事業①アナウンス朗読講習会	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	24 27	火 金	第65回NHK杯全国高校放送コンテスト	NHKホール他(東京)	全放連・NHK
7	27	金	Nコン番組制作セミナー	(東京)	全放連・NHK
8	8	水	高文連全国放送専門部理事会	カノラホール(長野県岡谷市)	全国高文連
8	9 10	木 金	第42回全国高等学校総合文化祭(長野大会)放送部門	カノラホール(長野県岡谷市)	全国高文連
9	上旬		第2回理事会	盛岡白百合学園高校	放送専門部
9	16 <sup>か</sup> 23	日	セミナーサポート事業②放送講習会	(県民会館以外)	放送専門部
9	中・下旬		東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	(仙台)	東北高文連
10	5	金	第41回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式	さくらホール (黒沢尻工業高校主管)	県高文連 (北上支部主管)
10	8	月	セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー	県民会館他	放送専門部
11	5	月	第41回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第36回岩手県高等学校放送新人大会	県民会館	放送専門部
11	24	土	セミナーサポート事業④番組講習会	県民会館	放送専門部
12	23	日	セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会	県民会館	放送専門部
12	下旬		校内放送指導者講座	千代田放送会館?(東京)	全放連・NHK
2	上旬		第22回東北高等学校放送コンテスト	(宮城県)	東北高文連
2	中旬		第3回理事会・会計監査	盛岡白百合学園高校	放送専門部
3	23	土	番組講習会	県民会館	盛岡支部

(2) 2018(平成30)年度以降の上位大会 (2016(平成28)年度第2回理事会で連絡済)

ア NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会決勝の日

- ・2018(平成30)年65回大会 2018(平成30)年7月27日(金) NHKホール
- 2020(平成32)年67回大会については、東京オリンピックとの関係で、神戸市などで開催する。

イ 全国高等学校総合文化祭

- ・2018(平成30)年42回大会 長野県 (カノラホール(岡谷市文化会館))
- ・2019(平成31)年43回大会 佐賀県 (基山町民会館)
- ・2020(平成32)年44回大会 高知県 (高知市文化プラザかるぽーと)
- ・2021(平成33)年45回大会 和歌山県?
- ・2022(平成34)年46回大会 東京都?
- ・2023(平成35)年47回大会 鹿児島県?
- ・48~94回大会の開催ブロックについては、放送専門部のウェブサイト参照

ウ 東北高等学校放送コンテスト…秋田から時計回りを原則とする。

- ・2018(平成30)年度22回大会 宮城県
- ・2019(平成31)年度23回大会 福島県
- ・2020(平成32)年度24回大会 山形県
- ・2021(平成33)年度25回大会 秋田県
- ・2022(平成34)年度26回大会 青森県
- ・2023(平成35)年度27回大会 岩手県

## 連絡2 放送専門部の連絡方法

(1) 放送専門部ウェブサイトについて

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/>

(2) 放送専門部顧問メーリングリストについて

- ・放送専門部顧問のメールアドレスを登録したメーリングリストを設けています。また、連絡は原則としてメーリングリストまたは個別のメールによりますので、一日一度はメールの確認をお願いします。なお、上位大会の手続きは、原則としてすべてメールやウェブです。

(3) 事務局からの文書発送について

- ・事務局からの文書は、放送専門部のウェブサイトにデータを掲載しダウンロードできるようにします。また、公立高校へは GWW でも送信します。その都度、メーリングリストまたは個別のメールで周知します。

## 連絡3 その他

### (1) 理事会の旅費の計算について

- ・理事会の旅費は，県高文連旅費規程により，専門部が負担します。
- ・旅費の算出は，各自(各校)でおこなってください。各校の事務室で出張の実態(発着地，通勤経路との関係，私用車公用の有無など)にあわせて算出してもらい，理事会出席の報告時に，交通費(運賃・車賃)・現地経費をお知らせください。
- ・近隣の学校での乗りあわせなど，経費節減へのご協力もよろしくお願いいたします。

### (2) 部員数調査について

- ・事業計画(行事への参加数，補助員依頼等)の基礎資料として，部員数等の調査をおこないます。5月9日(火)までに回答をお願いします。集約結果はメーリングリストと第2回理事会で報告します。

### (3) 高文連理事会(4/14 サンセール盛岡)報告

- ・全国総文祭(宮城)生徒観覧推奨事業 →協議3(1)エ④
- ・全国総文祭(宮城)の生徒旅費補助は2泊分の予定。

### (4) その他

- ・高総体総合開会式司会について…5/23(火)運動公園，盛岡支部の学校から4名を事務局で推薦
- ・KOTOSE よみ祭り，第9回青空文庫朗読コンテスト(いずれも5/13・クロステラス)の紹介
- ・パナソニックキッズスクール「KWN 日本」2017年度プログラムの紹介
- ・盛岡支部から，県高総文祭総合開会式(10/13)の放送部門としての協力について
- ・宮城総文代表校顧問の打合せ

# 岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約

## 第1章 総則

### 第1条(名称)

本専門部は、岩手県高等学校文化連盟放送専門部と称し、岩手県高等学校文化連盟に所属する。

### 第2条(事務局)

本専門部は、事務局を専門部長が委嘱する学校に置く。

### 第3条(構成)

本専門部は、岩手県高等学校文化連盟加盟校の放送・視聴覚等の部・委員会等(以下「放送部等」という)により構成する。

2 本専門部に岩手県高等学校文化連盟が定める10支部(盛岡、花巻、北上、奥州、一関、気仙、釜石、宮古、久慈、二戸)を置く。

## 第2章 目的及び事業

### 第4条(目的)

本専門部は、岩手県高等学校文化連盟の掲げる目的に即して、放送部等の相互理解と、校内放送活動の育成、振興、ならびに健全な発展に寄与することを目的とする。

### 第5条(事業)

本専門部は、前条の目的達成のために、次の事業を行う。

- (1) 大会、講習会、研修会の開催に関すること。(NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会、岩手県高等学校放送新人大会等)
- (2) 放送部等の情報交換および連絡に関すること。
- (3) 校内放送活動の研究に関すること。
- (4) 関係機関との情報交換および交流に関すること。
- (5) その他目的達成に必要な事業

## 第3章 役員

### 第6条(役員)

本専門部に次の役員を置く。

- (1) 専門部長 1名
- (2) 副専門部長 若干名

(3) 専門部代表理事(事務局長) 1名

(4) 専門部理事 若干名

(5) 支部理事 各支部1名(10名)

(6) 監事 2名

### 第7条(事務局)

本専門部事務局に次の事務局員を置く。

(1) 事務局長(専門部代表理事) 1名

(2) 庶務担当 若干名

(3) 会計担当 若干名

### 第8条(職務)

役員の仕事は次のとおりとする。

- (1) 専門部長は、本専門部を代表し、会務を統轄する。
- (2) 副専門部長は、専門部長を補佐し、専門部長に事故あるときは、その職務を代行する。
- (3) 専門部代表理事は、理事会を統括し、事務局長として会務を処理する。
- (4) 専門部理事は、理事会を組織し、会務を処理する。
- (5) 監事は、業務の監督及び会計の監査を行う。
- (6) 事務局員は、本専門部の事務を処理する。

### 第9条(選出)

役員の選出は次のとおりとする。

- (1) 専門部長は、岩手県高等学校長協会の推薦により、理事総会で承認する。
- (2) 副専門部長は、理事総会の推薦により、専門部長が委嘱する。
- (3) 専門部代表理事(事務局長)、専門部理事、監事は、理事総会の推薦により、専門部長が委嘱する。
- (4) 支部理事は、専門部理事より各支部で選出し、理事総会で承認する。
- (5) 事務局員は、専門部長が委嘱する。

2 役員の重任は妨げない。

### 第10条(任期)

役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じたときは補充することができる。

## 第4章 会議

### 第11条(会議)

本専門部の会議は次のとおりとする。

- (1) 理事総会 本専門部役員全員で構成する。理事総

会は本専門部の最高決議機関であり、毎年1回専門部長が招集する。

- (2) 理事会 専門部長、副専門部長、専門部代表理事(事務局長)、専門部理事で構成する。必要に応じて専門部長が招集する。
- (3) 事業実行委員会 主催事業毎、ならびに上位大会を主管する毎に組織する。必要に応じて専門部長が招集する。

#### 第12条(会議に付議すべき事項)

- (1) 理事総会
  - ① 事業報告および決算
  - ② 事業計画および予算
  - ③ 役員を選出
  - ④ 規約の改定
  - ⑤ その他特に必要な事項
- (2) 理事会
  - ① 理事総会から委嘱された事項
  - ② 細則の改定
  - ③ 加盟団体から提案された事項
  - ④ その他必要な事項

#### 第13条(議決)

会議は構成校の3分の2以上の出席で成立するものとし、委任状はこれを認める。

- 2 議決は出席者の過半数の賛否により決定する。ただし1校1票とする。

### 第5章 会計

#### 第14条(会計)

本連盟の経費は、登録料・参加料・補助金(岩手県高等学校文化連盟等)・寄付金及びその他の収入をもって、これにあてる。

#### 第15条(会計年度)

本専門部の会計年度は当年4月1日から翌年の3月31日までとする。

#### 第16条(会計経理)

本専門部の会計は、別に定める会計事務に関する細則による。

#### 附則

- 1 この規約は、理事総会の議決によらなければ変更することができない。
- 2 この規約の実行に必要な細則は、理事会の議決をへて別に定める。
- 3 この規約は、平成13年4月1日から施行する。
- 4 この規約は、平成15年4月から施行する。
- 5 この規約は、平成18年4月から施行する。
- 6 この規約は、平成20年4月から施行する。
- 7 この規約は、平成21年4月から施行する。

### 役員選出に関する細則

#### 第1条(趣旨)

この細則は、岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約の附則に基づき、同規約第6条および第9条による役員選出について定めるものである。

#### 第2条(役員選出の原案)

役員を選出については、別表1により原案を作成する。事務局については第3条で定める。

#### 第3条(事務局の輪番)

- 事務局は、2年交代の輪番制とする。
- 2 輪番制の対象校は盛岡支部内の専門部理事担当校とする。
  - 3 輪番制の詳細については、別表2による。

#### 附則

- 1 この細則は理事会の議により改定することができる。
- 2 別表1および別表2は、事務局が交代する直前の理事会で改定することを原則とする。
- 3 この細則は、平成13年4月1日から施行する。
- 4 この細則は、平成16年4月から施行する。
- 5 この細則は、平成17年4月から施行する。
- 6 この細則は、平成20年4月から施行する。
- 7 この細則は、平成21年4月から施行する。
- 8 この細則は、平成24年4月から施行する。

## 別表1 役員案作成に関する事項

- 専門部長 岩手県高等学校長協会の推薦による。
- 副専門部長 事務局校の校長ならびに次期事務局校の校長とする。ただし専門部長が事務局校校長である場合は次期事務局校校長のみとする。
- 専門部代表理事(事務局長) 事務局校の専門部理事とする。
- 専門部理事 大会(NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会、岩手県高等学校放送新人大会等)に参加する学校ならびに盛岡支部の学校を原則とする。
- 監事 前事務局校と次期事務局校とする。
- 備考 専門部長について2016(平成28)年4月の岩手県高等学校長協会の推薦は、岩手中・高等学校長。

## 別表2 事務局の輪番に関する事項

- |           |              |
|-----------|--------------|
| 1 盛岡白百合学園 | 1996～1997 年度 |
| 2 盛岡第二    | (インターハイ式典)   |
| 3 盛岡第三    | 1998～1999 年度 |
| 4 盛岡南     | 2000～2001 年度 |
| 5 不来方     | 2002～2003 年度 |
| 6 盛岡工業    | 2004～2005 年度 |
| 7 盛岡商業    | 2006～2007 年度 |
| 8 盛岡第一    | 2008～2009 年度 |
| 9 盛岡市立    | 2010～2011 年度 |
| 10 盛岡北    | 2012～2013 年度 |
| 11 盛岡第四   | 2014～2015 年度 |
| 12 岩手     | 2016～2017 年度 |

(12番の次は1番に戻る)

備考①輪番制は1996(平成8)年度から実施している。

②輪番については、記載順を原則とする。

## 会計事務に関する細則

### 第1条(趣旨)

この細則は、岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約の附則に基づき、同規約第14条による会計事務の執行について定めるものである。

### 第2条(会計事務)

会計事務は、専門部長の指導のもと、事務局長が担当する。

- 2 予算書は、事務局長が作成し、理事総会の議を経なければならない。
- 3 収納した現金は、確実な金融機関に預金し、事務局長が保管する。
- 4 事務局長は、予算書および関係書類を照合し、その内容金額を適正時期に支出する。受領した領収証は厳重に保管し、速やかに記帳処理を行う。
- 5 決算書は、会計年度終了後速やかに作成し、監査後、理事総会の承認を得なければならない。

### 第3条(登録料)

登録料は、主催大会の参加校1校あたり、年額10,000円とする。納期は理事会で定める。

### 第4条(参加料)

本専門部の主催する事業の参加料、ならびに納期は、理事会で定める。

### 第5条(旅費)

旅費は、岩手県高等学校文化連盟旅費規程による。

### 第6条(事業費)

本専門部が主催する事業については、放送専門部一般会計から相当額の事業費を支出し、その都度予算書を作成し、理事会の議を経て執行する。予算書は、事務局長が作成する。

- 2 事業終了後は、速やかに決算書を作成し、監査後、理事会の承認を得なければならない。

### 附則

- 1 この細則は理事会の議により改定することができる。
- 2 この細則は、平成13年4月1日から施行する。
- 3 この細則は、平成20年4月から施行する。
- 4 この細則は、平成21年4月から施行する。
- 5 この細則は、平成25年4月から施行する。

# 岩手県高等学校文化連盟旅費規程

(参考資料)

## 第1条(趣旨)

この規定は岩手県高等学校文化連盟会計規定第2条により、旅費に関し必要な事項を定めるものとする。

## 第2条(旅費の支給)

岩手県高等学校文化連盟加盟校の職員(以下、「加盟校職員」という。)が岩手県高等学校文化連盟(以下、「県高文連」という。)の主催する事業を遂行するために旅行する場合には、当該加盟校職員に対し、旅費を支給する。

- 2 前項の規定に関わらず、加盟校職員が県高文連の主催する大会(以下、「主催大会」という。)等に、参加生徒を引率する業務を兼ねて従事する場合には、旅費を支給しない。
- 3 加盟校職員以外の者が、県高文連の依頼に応じ、県高文連の主催する事業の遂行を補助するために旅行した場合には、その者に対し旅費を支給する。

## 第3条(旅費の種類)

旅費の種類は、交通費、現地経費、宿泊料とする。

## 第4条(交通費)

交通費は、鉄道賃、船賃、航空賃、車賃とし、旅行の経路に応じて、次の各号に定めるところにより実費相当額を支給する。

- (1) 鉄道賃は、加盟校職員が所属する学校(以下、「加盟校」という。)の最寄り駅から用務地の最寄り駅までの運賃実費を支給する。
- (2) 船賃は、水路旅行について、路程に応じ船賃実費を支給する。
- (3) 航空賃は、航空旅行について、路程に応じ支給するものとし、その額は現に支払った額とする。
- (4) 加盟校又は用務地から最寄り駅までの陸路距離が相当程度と認められる場合に限り、陸路旅行について、路程に応じ車賃を支給することができる。その額は岩手県職員の例による。

## 第5条(現地経費)

現地経費は、旅行中の日数に応じ1日当たりの定額により支給するものとし、その額は次のとおりとする。

- (1) 旅行の用務地が県内である場合には、1,500円を支

給する。

- (2) 旅行の用務地が県外である場合には、甲地方(東京23区、さいたま市、千葉市、横浜市、相模原市、川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、福岡市)については、2,900円、乙地方(甲地方にあげた以外の地域)については、2,200円を支給する。

2 前項の規定に関わらず、次の各号の一に該当する場合においては、当該各号に規定する額に調整する。

- (1) 行程40キロメートル未満の旅行(※1)であって、用務地が県内のものについては、支給しない。
- (2) 用務が主催大会であって、昼食が支給される場合は、前項の各号に規定する額の2分の1に相当する額。
- (3) 公用車等(※2)のみを利用して旅行する場合は、前項の各号の規定する額の2分の1に相当する額。

## 第6条(宿泊料)

宿泊料は、旅行中の夜数に応じ1夜当たりの定額により支給するものとし、その額は、甲地方(東京23区、さいたま市、千葉市、横浜市、相模原市、川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、福岡市)については、10,900円、乙地方(甲地方にあげた以外の地域)については、9,800円とする。

2 前項の規定に関わらず、次の各号の一に該当する場合においては、当該各号に規定する宿泊料を支給する。

- (1) 旅行者が自己所有の空き家、配偶者宅等に宿泊する場合には、宿泊料は支給しない。
- (2) 主催大会に関する業務に従事する場合等で、大会主催者等により宿泊料が定められている場合には、当該実費額を支給する。

3 主催大会等に関する業務に従事する場合で、県高文連会長が必要と認めた者に対しては、宿泊料を支給することができる。

## 第7条(準用)

この規定に定める事項以外については、岩手県職員の例による。

## 附則

- 1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 この規程は、平成18年4月21日から施行する。

- 3 この規程は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。
- 4 この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
- 5 この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

(補足)

- ※1 1 日の行程(日帰りの場合は往復分)のキロ数
- ※2 「公用車等」は、私用車の公務上使用承認を受けた場合を含む

## 岩手県高等学校文化連盟表彰規程(参考資料)

### 第 1 条(趣旨)

本県高等学校の芸術・文化の活動の振興と水準の向上を図るため、芸術・文化活動における優れた業績と本連盟の発展に尽くした生徒(部を含む)、教職員及び他団体(個人)を表彰する。

### 第 2 条(推薦の方法)

推薦にあたっては、別紙様式による推薦書に記入し、所定の期日までに提出する。

- 1 生徒について
  - (1) 当該学校長が在学生徒及び前年度卒業生より選定して、会長あて推薦する。
  - (2) 専門部長は、当該専門部より選定して会長あて推薦する。
- 2 教職員については、支部長、専門部長が選定して会長あて推薦する。
- 3 団体については、支部長、専門部長等が選定して会長あて推薦する。

### 第 3 条(推薦の条件)

- 1 生徒について
  - (1) 在学中、学業・性行ともに優れ、健全かつ優れた活動実績を有するもの。
  - (2) 県高等学校総合文化祭として、専門部ごとに表彰する特別賞を受賞したもの。
  - (3) 全国高等学校総合文化祭、その他の全国規模の大会及びコンクールにおいて優良賞(3 位)以内に入賞した個人及び部(団体)。
  - (4) 推薦対象の期間は、前年度 9 月 1 日より翌年の 8 月 31 日までの一年間を原則とする。
- 2 教職員について

多年にわたり芸術・文化の指導に尽くし、本県高等学校文化連盟の振興に寄与した功績が特に顕著であった教職員であること。

- (1) 次に該当する役員が退任する際に表彰する。

ア 県高等学校文化連盟会長

- (2) 次に該当する教職員については、退職の際に表彰する。

ア 県高等学校文化連盟副会長、専門部長を経験したもの。

イ 県高等学校文化連盟参与、理事長、事務局長を経験したもの。

ウ 指導者として全国規模の大会及びコンクールに優良賞(3 位)以内に入賞したものを対象とする。

エ 指導者として全国規模の大会及びコンクールに 10 回以上出品・出演させたものを対象とする。

オ 専門部代表理事を 3 年以上経験したもの。

### 第 4 条(表彰審議委員会)

審議を公平に行うため、表彰審議委員会を設置する。

- 1 高文連会長は表彰審議委員会を設置する。
- 2 表彰審議委員は、高文連会長が委嘱する。
- 3 表彰審議委員会は、必要に応じて会長が招集し、被表彰者を審議選考して、会長に具申する。

### 第 5 条(表彰)

- 1 県高等学校総合文化祭総合開会式の際表彰する。
- 2 表彰状及び記念品を贈る。

### 第 6 条(専門部の表彰)

- 1 県高等学校総合文化祭として、専門部ごとの表彰については、高等学校文化連盟会長名で表彰するものとする。
- 2 表彰の名称等は次の型とする。
  - (1) 特別賞 最優秀賞 優秀賞 優良賞 入選
  - (2) 特別賞 金賞 銀賞 銅賞 入選
  - (3) 1 位 2 位 3 位

### 付則

- 1 この規程は、昭和 62 年 9 月 9 日から施行する。
- 2 この規程は、平成 12 年 4 月 18 日から施行する。
- 3 この規程は、平成 24 年 4 月 13 日から施行する。
- 4 この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。